中学校・高等学校「保健体育」 教科及び教科の指導法に関する科目担当者(人間健康学部)

施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数		担当者	保有する学位	業　績
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択			
教科に関する専門的事項	体育実技	総合野外活動実習Ⅰ		1	中野 匡隆	修士 （体育学）	共著「屋根付きテニスコートのWBGT測定:ー日射遮蔽効果の検証ー」『日本生気象学会雑誌』第57巻、第1号、2020年7月.
		総合野外活動実習Ⅱ		1	中野 匡隆	修士 （体育学）	共著「熱中症の事前学習が熱中症既往者数に及ぼす影響」『日本生気象学会雑誌』第53巻、第1号、2016年4月.
		総合野外活動実習Ⅲ		1	中野 匡隆	修士 （体育学）	共著「携帯型発汗計を使用したゲレンデスキー中の局所発汗量の測定」『発汗学』第26巻、第1号、2019年4月.
		トレーニング実習	1		中野 匡隆	修士 （体育学）	共著「高校生アマチュアボクシング選手のウェイトコントロールの状況分析」『スポーツ健康科学研究』第36巻、2014年12月.
		レクリエーション実技		1	松村 雄樹	博士 （学術）	健康スポーツ概論―プロモーション，ジェロントロジー，コーチング―　2013年6月、編集者：山羽教文・長ヶ原誠　発行：杏林書院　第4章　「レジャー老年学」
		専門スポーツ実習 （器械運動）	1		小島 正憲	修士 （体育学）	「倒立姿勢の「腰が反る」動作を改善するための事例的研究－マット運動から－」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年12月.
		専門スポーツ実習 （陸上競技）	2		木野村 嘉則	修士 （体育学）	「中学校3年体育授業における多視点型教材「背面跳び」の効果検証」『体育学研究』第67巻、2022年, 4月.
		専門スポーツ実習 （水泳）	1		渡邉 泰幸	学士	日本水泳公認上級コーチ資格に基づき経験多数. 「国民体育大会愛知県競泳監督並びに日本代表選手を輩出」
		専門スポーツ実習 （球技）	2		山村 伸	修士 （スポーツ健康科学）	「NBA 2017-2018シーズンにおける勝敗要因に関する研究」『東邦学誌』第48巻、第2号、2019年12月. 日本バスケットボール協会公認コーチ
					伊藤 数馬	修士 （教育学）	「ボール供給方向の違いがサッカーのインサイドキックに及ぼす影響」『運動とスポーツの科学』 第21巻、第1号、2015年12月.
		専門スポーツ実習 （剣道）		1	櫻井 秀樹	学士	全日本剣道連盟（剣道四段）資格に基づき経験多数
		専門スポーツ実習 （柔道）		1	宮田 みき	学士	全日本柔道連盟（参段）の資格に基き経験多数
		専門スポーツ実習 （ダンス）	1		石原 弘恵	修士 （健康科学）	名古屋市文化振興事業団主催（地域還元事業）「みる・まなぶ・ダンス」の講師を務める/至学館高校ダンス部コーチ
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	スポーツ原理		2	松村 雄樹	博士 （学術）	運動・スポーツ実施の開始希望者と再開始希望者の条件要因に関する比較研究. 生涯スポーツ学研究， 17(1) 1-11， 2020年9月
		スポーツ心理学		2	山村 伸	修士 （スポーツ健康科学）	「スポーツの価値意識に関する研究―中高生における日英比較―」『武蔵丘短期大学紀要』第19巻、2012年3月.
		スポーツマネジメント		2	川西 司	修士 （体育学）	プロスポーツ観戦者のチームアイデンティフィケーションの因子構造について，中京大学体育研究所紀要，第35巻，ｐ81-ｐ88，2021年3月.
		スポーツ社会学		2	松村 雄樹	博士 （学術）	Facilitative Factors on Career Patterns of Sports Participation in Middle-Aged and Older Adults: A Comparative Study. International Journal of Sport and Health Science 18: 220-230, 2020,Nov.
		バイオメカニクス	2		木野村 嘉則	修士 （体育学）	Ball speed and spin rate during repetitive pitching by baseball novices. Journal of Physical Education and Sport. 2021,Jul.
		トレーニング科学	2		木野村 嘉則	修士 （体育学）	The influence of vertical jump ability on spike jump height with an approach run in female volleyball players. Serbian Journal of Sports Sciences. 2021,Apr.
		野外運動論		2	岩舘 考一	-	キャンプインストラクター・キャンプディレクター1級の資格を基に多数の現場指導経験有り
		コーチング論		2	木野村 嘉則	修士 （体育学）	Learning Outcomes for Physical Education in Long Jump: Is it Possible for 5th Graders to Learn Take-off Techniques that Enable Greater Vertical Velocity?International Journal of Sport and Health Science.2019,Nov.
	生理学 （運動生理学を含む。）	解剖生理学Ⅰ	2		中野 匡隆	修士 （体育学）	共著Effect of hypercapnic severity on plasma ammonia accumulation and respiratory exchange ratio during incremental exercise.International Journal of Sports and Exercise Medicine .2015,July.
		解剖生理学Ⅱ	2		中野 匡隆	修士 （体育学）	共著Effect of hypercapnic severity on plasma ammonia accumulation and respiratory exchange ratio during incremental exercise.International Journal of Sports and Exercise Medicine .2015,July.
		運動生理学	2		中野 匡隆	修士 （体育学）	「運動によって誘発される遅発性筋痛に対する人工炭酸泉浴の影響」『東邦学誌』第47巻、第2号、2018年12月.
	衛生学・公衆衛生学	衛生学	2		三好 弥生	博士 （社会福祉学）	共著「高齢者の脆弱性を知るための用語の整理」第25回日本介護福祉教育学会、2018年8月.
		環境保健論		2	渡辺 弥生	修士 （看護学）	「看護専門学校における学生への欠席に対する指導ーA県内看護専門学校の教務主任の調査ー」第48回日本看護学会論文集、看護教育、2018年4月.
	学校保健 （小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健	2		尚 爾華	博士 （医学）	「大学生の食生活実態と食育の課題～朝食の欠食頻度に焦点を当てて～」『東邦学誌』第 46巻、第2号、2017年12月.
					上田 裕司	修士 （学校教育学）	「学習指導要領による中学校・高等学校の医薬品の学習」『学校保健研究 』第56巻、第6号、2015年2月.
		小児保健論	2		尚 爾華	博士 （医学）	共著「上海市小学生におけるシーラント処置状況に関する調査～一次予防の実施状況と児童の口腔衛生環境について～」『東邦学誌』第48巻、第1号、 2019年6月.
		救急処置法	2		三好 弥生	博士 （社会福祉学）	共著「介護福祉士に必要な解剖学・生理学についての研究－『医行為』ではないとされた11項目についての分析から」第14回日本介護福祉学会、2006年.
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保健体育教育法Ⅰ	4		小島 正憲	修士 （体育学）	Development of observational indicators for evaluating handstand posture in the mat exercise in physical education class: validity and reliability,Journal of Physical Education and Sport ® (JPES),Vol 21 (Suppl. issue 3),2021,July.
					山村 伸	修士 （スポーツ健康科学）	「本学健康スポーツ専攻教員養成課程における保健体育科教育法体育分野の現状と課題」『武蔵丘短期大学紀要』第25巻、第1号、2017年12月.
		保健体育教育法Ⅱ	4		上田 裕司	修士 （学校教育学）	「中学校保健学習の準備，生徒の反応，使用指導方法等に関する保健体育科教員の意識 －質問紙調査の小単元の分析から－」『学校保健研究』 第57巻、第5号、2015年12月.

中学校・高等学校「保健体育」 教育の基礎的理解に関する科目等担当者（人間健康学部）

施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数		担当者	保有する学位	業　　績
科目	各科目に含める必要事項		必修	選択			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	2		丹下 悠史	修士 （教育学）	「問題解決学習の道徳教育としての意義と課題」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第60巻、第2号、2014年3月.
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論（中・高）	2		丹下 悠史	修士 （教育学）	「道徳教育における教師の授業洞察力を高める研修方法の開発」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年12月.
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の制度と経営	2		松田 香南	修士 （教育学）	「琉球政府期沖縄における校内研修体制の構築―1950年代の沖縄教職員会による体系整備の萌芽―」『日本教育行政学会年報』第48号、2022年10月。
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学（教育・学校心理学）	2		松尾 香弥子	博士 （学術）	松尾香弥子，『空書の脳内メカニズム－運動による文字処理過程の神経的負荷低減の仕組み－』（風間書房）,全258頁, 2004.12.15.
	特別の支援を必要とする幼児。児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論（中・高）	2		松尾 香弥子	博士 （学術）	松尾香弥子，『空書の脳内メカニズム－運動による文字処理過程の神経的負荷低減の仕組み－』（風間書房）,全258頁, 2004.12.15.
					小川 征利	博士 （社会福祉学） 修士 （教育学）	「通常の学級に在籍する児童のきこえの困難さ検出用チェックリストの作成：因子分析的検討を通して」『特殊教育学研究』第51巻、第1号、2013年5月.
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論（中・高）	2		アズミ ムクリサフ	修士 （教育学）	共著「インドネシアにおける2013年カリキュラムの施行とその展開過程」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第67巻第2号（2020年度）、2021年3月、81-96頁
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法（中学校）	2		丹下 悠史	修士 （教育学）	「道徳教育における教師の授業洞察力を高める研修方法の開発」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年12月.
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法（中・高）	2		白井 克尚	博士 （学校教育学）	「アクティブ・ラーニングを取り入れた「総合的な学習の時間の指導法」に関する実践研究」『東邦学誌』第50巻、第2号、2021年12月.
	特別活動の指導法	特別活動の指導法（中・高）	2		上田 裕司	修士 （学校教育学）	「中学校保健分野の医薬品の学習におけるデジタル絵本教材活用の効果」『 兵庫教育大学学校教育学研究』第29巻、2016年11月.
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論（中・高）	2		丹下 悠史	修士 （教育学）	共著「授業記録にもとづく授業分析のための手法に関する試験的研究」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第62巻、第2号、2016年3月.
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（中・高）	1		上田 裕司	修士 （学校教育学）	「喫煙，飲酒，薬物乱用，医薬品の乱用など防止教育に対する中学校教員の意識と関連要因」『兵庫教育大学共同研究論文集（学校教育コミュニティ―）』 第7号、2017年9月.
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（中・高）	2		松田 凌	博士 （心理学）	「ロールシャッハ法に現れる注意制御の困難さ―不快刺激へ注意が向きやすい1事例からの検討」中京大学臨床心理相談室紀第21号、2021年11月.
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論（中・高）	1		石嶺 ちづる	博士 （教育学）	「アメリカの学校から職業への移行支援における職業教育の広大接続の特徴ーNYC・P-TECHのMECAを事例としてー」『愛知教育大学研究報告』第72輯、2023年3月
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前及び事後の指導（中・高）	2		上田 裕司	修士 （学校教育学）	「中学校学習指導要領による医薬品に関する授業実践研究」『学校保健研究』 第55巻、第3号、2013年8月.
		教育実習Ⅰ（中・高）		4	上田 裕司	修士 （学校教育学）	「新高等学校指導要領による科目「保健」の医薬品に関する授業実践研究」『教育実践学研究 』第13巻 、第1・2号合併号、2013年3月.
		教育実習Ⅱ（高等学校）		2	上田 裕司	修士 （学校教育学）	「中学校学習指導要領による医薬品に関する授業実践研究」. 『学校保健研究』 第55巻、第3号、 2013年8月.
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		松尾 香弥子	博士 （学術）	松尾香弥子，『空書の脳内メカニズム－運動による文字処理過程の神経的負荷低減の仕組み－』（風間書房）,全258頁, 2004.12.15.
					小島 正憲	修士 （体育学）	共著「教職実践演習を中心とした教職科目の検討：アクティブ・ラーニングの視点から」『東邦学誌』第46巻、第1号、2017年6月.
					丹下 悠史	修士 （教育学）	共著「授業記録にもとづく授業分析のための手法に関する試験的研究」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第62巻、第2号、2016年3月.

中学校・高等学校 大学が独自に設定する科目担当者（人間健康学部）

	免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数		担当者	保有する学位	業績
			必修	選択			
中学校	大学が独自に設定する科目	社会福祉概論	2		藤沢 真理子	博士 （社会福祉学）	「防災福祉コミュニティと避難行動要支援者支援」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年12月.
高等学校		社会福祉概論	2		藤沢 真理子	博士 （社会福祉学）	「防災福祉コミュニティと避難行動要支援者支援」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年12月.
		道徳教育の指導法（中学校）		2	丹下 悠史	修士 （教育学）	「道徳教育における教師の授業洞察力を高める研修方法の開発」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年12月.